

JETRO



EMBASSY OF JAPAN IN VIETNAM



NIC
VIETNAM NATIONAL INNOVATION CENTER

INNO VIETNAM - JAPAN JOINT INITIATIVE IN THE NEW ERA VIETNAM - JAPAN MEETUP

Social Impact 14th JUNE 2024 - Online

Vol.2



UNDP Vietnam
Project Manager
篠原 雄之 氏



三菱総合研究所
ハノイ駐在員事務所 所長
緒方 亮介 氏



WeCare247
CEO
Khoi Nguyen



WeCare247
Deputy CEO
Huan Le 氏



Forte Biotech
Founder
Kit Yong 氏



BUYO
Co-Founder & CEO
Do Hong Hanh 氏

開催概要

新しい日越共同イニシアティブ「Inno Vietnam-Japan Meetup Vol.2」～ソーシャルインパクト編～

2024年3月、「新しい日越共同イニシアティブ※」第1フェーズが始動しました。本イニシアティブのワーキングチーム（WT）2では、「イノベーション」をテーマに、JETRO、在ベトナム日本大使館、ベトナム日本商工会議所（JCCI）、ベトナム国家イノベーションセンター（NIC）が協力して、日本企業とベトナムスタートアップの協業等を進めてまいります。WT2のプロジェクト第2弾として、日越企業間のマッチングを目的としたウェビナーを開催します。

今回は「ソーシャルインパクト（社会貢献・社会課題解決）」をテーマに開催します。三菱総合研究所および国連開発計画（UNDP）によるソーシャルインパクトの解説に続き、ヘルスケアソリューションを手掛ける「WeCare247」、エビ養殖業者向けに疾病監視キットを展開する「Forte Biotech」、有機廃棄物由来の完全生分解性のバイオプラスチック製品を製造している「BUYO」のスタートアップ3社を紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。

※ベトナムの産業競争力を高めることを目的に、2003年の日越両国首脳の合意に基づき始められた官民連携の取り組み。2024年より「新しい日越共同イニシアティブ」として開始

【日 時】2024年6月14日（金）ベトナム時間14:00～15:30／日本時間16:00～17:30

【主 催】JETRO、在ベトナム日本大使館、JCCI、NIC

【参加費】無料 【言 語】日本語（日・英語同時通訳） 【定 員】200名

【形 式】ウェビナー ※Zoom (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>) を使用します。

免責事項：https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/Events/terms-ja_eng.pdf

【参加対象】ベトナム企業との協業をお考えの日本企業、支援機関 ※在日本、ベトナム、その他地域からも歓迎です。

【プログラム】

14:00～14:05（ベトナム時間）	イントロダクション：JETRO	
14:05～14:30	解説：「インパクト投資分野における日越協業拡大に向けた提言」 三菱総合研究所 ハノイ駐在員事務所 所長 緒方 亮介 氏 UNDP Vietnam Project Manager 篠原 雄之 氏	
14:30～14:50	①WeCare247（ホーチミン市） Khoi Nguyen氏（CEO）, Huan Le氏（Deputy CEO）	プレゼンテーション（15分） 質疑応答（5分）
14:50～15:10	②Forte Biotech（ホーチミン市） Kit Yong氏（Founder）	プレゼンテーション（15分） 質疑応答（5分）
15:10～15:30	③BUYO（ハノイ） Do Hong Hanh氏（Co-Founder & CEO）	プレゼンテーション（15分） 質疑応答（5分）

【お申込み】 6月12日（水）正午（日本時間）までに、以下のURLよりお申込み下さい。

※お申込み頂いた方には、開催日前日までにEメールにてアクセスURL等をお送りいたします。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/vha/inno2>

お問合せ先：ジェトロ・ハノイ事務所（担当：矢島、新居）

TEL: +84-24-3825-0630 E-mail: VHA-Innovation@jetro.go.jp



企業名	WeCare247	設立年	2017年
代表者	Nguyen Minh Tam氏 (Founder & Chairman)	従業員数	40名
所在地	ホーチミン市	分野	ヘルスケア
ウェブサイト	https://wecare247.com.vn/	資金調達	金額非公開 (プレシリーズA; 2024年)



Nguyen Minh Tam氏
(Founder & Chairman)

WeCare247は、患者を中心としたホリスティックで高度な介護サービスの提供を通して、ベトナムの生活の質を向上させることを目指している

●ビジネスモデル: ヘルスケアの質を高めるソリューションを提供:

✓ 専門的な訓練を受けた介護士約2,500人を擁し、病院と自宅を対象に介護サービスを提供している:

- ・ 介護サービス:高齢者や患者に対して、呼吸器疾患へのサポート、服薬の確認、移動や送迎、身の回りの世話や衛生管理、食事介助、屋外での散歩、社会活動、清潔で安全な環境の整備など、幅広いサポートを提供する。
- ・ 介護士の要件:全ての介護士は、高齢者、慢性疾患患者、脳卒中患者、術後の患者などの介護に必要な専門的なスキルを身につけるため、病院が定めた厳しい研修プログラムを受講している
- ・ 品質管理:WeCare247のスタッフスケジューリングシステムと品質管理チームが、定期的な現場訪問を行うことで、介護士のモニタリング、割り振り、高いサービス水準の維持を実現している

✓ 看護および在宅医療サービス:医療機関との提携により、看護師や医師を必要に応じて患者の自宅に派遣している。個々に合わせたサービスを1時間単位で利用可能である

●課題問題点: 介護士に関する市場への啓蒙、介護士と家政婦の違いを認識させること、人材の採用方法、人材の質に関するクオリティコントロール、会社をどのように持続的に成長・拡大させるか、が課題となっている(現在、人材の質部分は解決できつつある)

●今後の事業計画:

✓ 新たな介護サービスの開発:顧客ニーズに対応するため、介護士を専門性(例:糖尿病ケア、メンタルヘルスサポートなど)に基づいてより細分化する。また、患者に合わせた食事計画/食事プログラム、その他の必要物資(例:おむつ)を開発する

✓ テクノロジーの統合と拡大:今後3年間は、業務効率を改善し、会社を持続的に拡大するため、予約機能が備わったプラットフォームなど自社サービスにテクノロジーを導入することを進めたい。また、IoT機器、ウェアラブルセンサー、その他の先進的な機器や装置の導入し、患者の移動手段と健康状態改善を支援することを検討している

✓ 介護の普及活動:介護研修プログラムを一般市民にも拡大する計画がある(バンタウではすでに試験的に実施した)

●資金調達: Javis Ventures、500 Global (ID500 startups)、から調達(金額非公開・シードラウンド・2020年、2021年)、JICAから助成金(金額非公開・2021年)を受給。2024年5月に株式会社マイナビからのプレシリーズAの資金調達を実施(金額非公開)

●大学・研究機関・企業との協業(過去・現在含む):

✓ Cho Ray、Nguyen Tri Phuongなど大型の公立病院を含む90以上の病院やクリニックと提携し、介護サービスを提供

✓ Medpro、ABCare、Fresh Living、EasyGopなど、ヘルスケア関連だけでなく、さまざまな企業と戦略的パートナーシップを結び、サービスの強化・最適化を図っている

✓ CCC Travelとの戦略的パートナーシップによるウェルネスツアーの企画・実施

✓ ダナン医療技術・薬科大学との協力し、学生向けにヘルスケア分野の将来性等に関する情報、コンサルティングを提供

【こんな日本企業を探しています】

- あらゆる形の協業を検討可能
- サービスを向上させるための革新的な技術(例:効果的な医療機器など)の適用において助言が可能な日本企業とのパートナーシップ



企業名	Forte Biotech	設立年	2021年
代表者	Kit Yong氏 (Founder)	従業員数	32人 (シンガポール10人、ベトナム22人)
所在地	ホーチミン市	分野	アグリテック
ウェブサイト	https://www.fortebio.tech/	備考	64万米ドルを調達（プレシードラウンド）37万米ドルの助成金を獲得（2022年）



Kit Yong氏、Michael Nguyen氏(Founder & Co-Founder)

エビ養殖業者向けに、生産能力向上、専門家の助けを借りることなくエビの病気を迅速に診断できる技術を提供することで、食糧安定供給の実現を目指している。

- ビジネスモデル：エビ養殖の生産性向上とリスク軽減のため、エビ養殖業者向けに、疾病監視キットRAPID（Robust Accurate Prawn Infection Detector）を提供している。
 - ✓ 素早さ：養殖池内の病原体をモニタリングしながら、症状が出る前でも病気の兆候をつかむことができる。また、養殖業者は2時間以内に試験結果を見ることができる。
 - ✓ 現地で簡単に：システムは、自社設計のヒーター、読み取り機、試薬で構成されている。養殖業者は、養殖池内のエビからサンプル採取、DNA抽出、DNA検出の3つの簡単なステップを行うだけで、ベトナムで発症例の多い3つの感染症を検査可能である（WSSV、EPH、AHPND/EMS※）。
 - ✓ コストパフォーマンス：検査機関での検査は輸送費がかかり高価な上に時間がかかるが、RAPIDを使えばより安価なコストで毎日検査を行うことが可能である。
 - ✓ ●問題点・困難な点：
 - ✓ 養殖池がメコンデルタ各地方にあり、それぞれが離れているため、商品紹介、コンサルティング、カスタマーケアのための養殖業者訪問に多くの時間と労力がかかる。
 - ✓ 製品の材料輸入と、ベトナムへの輸入許可に関する当局の承認取得が難しい。
- 今後の事業計画：
 - ✓ 現在、エビの養殖データ（食品、環境、使用薬品）を収集・管理するための養殖業者向けアプリケーションを開発している。
 - ✓ ベトナム北部にポテンシャルを感じているので、来年には北部に進出したい（現在はベトナムのメコンデルタ地域のみ）、すでに販売代理店や研究機関が製品に関心を示しているので、ビジネスモデルをB2CからB2Bへと徐々に変えていくことも検討している。また、案件ごとのニーズに合わせたカスタマイズ製品の開発も目指している。
 - ✓ 将来的には、RAPIDの次世代バージョン、病気の程度を示す定量データを収集するための検査キットを開発し、検査ステップを減らすことを目指す。また、IoTデータを活用し、天候、水源、ロケーションを考慮した危機管理プログラムを作成し、病気に関連するリスクデータを収集、養殖業者が抱える潜在的なリスクを算出することを目指す。
- 資金調達：NUS Grip、Touchstone Partners、Sopoong、Boditechから64万米ドルを調達（プレシードラウンド）、Enterprise Singaporeから37万米ドルの助成金を獲得（2022年）、現在、150万～200万ドルを調達中（2023年第4四半期までに完了予定・シードラウンド）。
- 各種受賞歴：Techfest 2022トップ3、CrowdPitch 2022チャンピオン。
- 大学・研究機関・企業との協業（過去・現在含む）：RAPID 開発における NUS Grip との協力、カントー大学水産・農業学部との協力（大学側が検証試験、評価、学会実施を支援、弊社は製品、トレーニング、学生の雇用を行っている）、調査方法、センサーシステム開発における JICA との協力。

【こんな日本企業を探しています】

- ・農業関連企業とのパートナーシップ締結
- ・安価な検査キット、機械、生物処理製品を提供可能なサプライヤー（アフターサービス含む）、または弊社の製品（ボトルなど）用のオートメーションシステムを提供可能なメーカーを探したい
- ・資金調達

※

- ・白点症候群ウイルス（WSSV）はエビの中で急速に増殖し、高い致死率で海老を死亡させる
- ・Enterocytozoon hepatopenaei（EHP）は成長遅延とサイズのばらつきを引き起こす
- ・急性肝臓壊死症（AHPND）/早期死亡症候群（EMS）は海老の突然の大量死亡を引き起こすことがある

※本資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

※本資料の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。



企業名	BUYO	設立年	2022年
代表者	Do Hong Hanh (Ms.), Co-Founder & CEO	従業員数	10名 (うちR&D部門が過半を占める)
所在地	ハノイ	分野	環境(バイオプラスチック)
ウェブサイト	http://buyoplastic.com/	資金調達	プレシード / 非公開



Ms. Hanh Do氏 (左, Co-Founder & CEO)
Ms. Hoa Trinh氏 (右, Co-Founder & Partnership & Environment Director)

有機廃棄物由来の完全生分解性のバイオプラスチック製品を製造している

●事業概要、技術・製品・サービス概要:

- 高度な独自技術を通じて有機廃棄物をプラスチックに変える100%自然由来の生分解性バイオプラスチック・ソリューションを提供
 - 本バイオプラスチック製品は、自然環境で短時間で完全に分解可能であり、人間の健康にも安全、かつ通常のプラスチックと同様の特性を提供し、炭素放出量を減らすことができる
 - 様々な用途(軟包装、硬質包装、医療および美容・衣料品への適用)向けの製品を製造し、品質要求の厳しい市場(EU、北米、アジアなど)のB2B事業者に対して提供する計画となる
- ※ターゲット市場および注力製品について、それぞれ3フェーズで事業計画を立てており、フェーズ1「EU・カナダ、軟包装」、フェーズ2「アメリカ、硬質包装」、フェーズ3「オーストラリア・アジア、医療・美容用途」としている。サンプル製品の作成に成功しており、現在は大量生産に向けて工場を準備中となる

●競合他社: PLA producers (AN Phat社)、Notpla社、Genecis社など (当社の強みは「有機廃棄物を利用しており、デンプンを原料としないため食糧問題に影響を与えない」、「原料を安価に調達できる」、「製品は自然環境で完全に分解される」、「製品特性が優れている」、「炭素排出量が少ない」となる)

●売上、経営状況: 現時点で商業生産段階まで至っておらず、製品の最終仕上げ段階にあり、売上はまだない。一方、AB InBev社、Swire社、Joy Food社、Esquelグループ、ND Private Capital社等、世界でパートナー探索を進めており、「包装を試用してもよい」との回答を得ている

●現在抱えている課題やニーズ: 「工場設立のための資金が不足している」、「バイオプラスチック製品は通常のプラスチック製品よりも価格が高い」、「日本の事業者と協力した経験がなく、日本市場についての知識があまりない」

●今後の事業計画・展開予定地域: 仮に2022年内に資金調達ができた場合、ホーチミン市に製造工場を設立し6-7ヶ月程度で、軟包装製品の販売を開始し、硬質包装および医療/美容用途の製品は2024年での販売を計画している

●資金調達: Antler社(Earlyステージを対象としたグローバルVC)から資金調達を実施

●イノベーションに関する受賞歴: ベトナムで開催された100+ LABsコンペティションにて1st prize(2022年、酒類製造事業者AB InBev社主催)を受賞し、全世界を対象とした100+ Accelerator(AB InBev社、Unilever社、Coca Cola社、Colgate Palmolive社の後援)への参加権を取得

●大学や研究機関、企業との連携実績: Hanoi University of science and technology、オーストラリアの資金援助で立ち上げられたVietnam Plastic Innovation Hubの創立時メンバーと連携(助言・提言を実施)、Co-FounderのHoa氏はVietnam Plastic Associationのアドバイザーを務める

⇒2023年5月報道) プレシードラウンドでAldebaran Capitalなどより資金調達(金が来は非公開)。

【こんな日本企業を探しています】業務提携／資金調達

- ・ 飲食、スーパーマーケット、医療、美容業界の企業 (当社製品を提供したい)
- ・ 資金面での支援が可能な企業・ベンチャーファンド (100万USD程度の資金調達を計画している)